

## 32 北海道の名づけ親

### 松浦 武四郎

#### 教材の解説

江戸時代の終わりごろ、当時「蝦夷地」と呼ばれていた北海道を徒歩で調査した松浦武四郎は、調査時に先住民であるアイヌの人々と交流を深めました。明治時代になり、政府の役人となった武四郎は、蝦夷地に代わる呼び名として、アイヌの言葉をもとに「北加伊道」を提案し、それが現在の「北海道」となりました。



松浦武四郎